

令和6年11月12日

東御市議会議長

中村 眞一 様

会 派 名 しんせいの会

代表者氏名 花岡 豊一

令和6年度(上期)政務活動費収支報告書

東御市議会政務活動費の交付に関する規則第7条の規定により、下記のとおり、令和6年度(上期)政務活動費収支報告書を提出します。

記

交付金額	210,000	円
支出金額	201,031	円
差引金額	8,969	円

(支出の内訳)

(単位:円)

科 目	決 算 額	政務活動費充当額	説 明
調 査 研 究 費	189,472	189,472	金沢市、勝山市、敦賀市
研 修 費			
広 報 費			
広 聴 費			
要望・陳情活動費			
会 議 費			
資 料 作 成 費			
資 料 購 入 費	11,559	11,559	市議会会議録代
人 件 費			
事 務 所 費			
計	201,031	201,031	

(実施事業)

事 業 名	事 業 内 容

政務活動記録簿

会派名	しんせいの会
事業名	会派行政視察【石川県金沢市、福井県勝山市、福井県敦賀市】
実施日	令和6年4月22日（月）～24日（水）
参加議員	花岡豊一、村山弘子、斉藤哲

1 東御市における課題と研修・調査の目的

- ・能登半島地震からの災害復旧中の現場の状況と課題の検証（災害現場の状況把握と災害復旧が遅れている原因と解決方法を知る事で今後の東御市の災害対策に活かす）
- ・地域の特徴を活かしたまちづくりの取り組みについて（東御市への参考事例を学ぶ）
- ・結婚、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を始めとする子育て環境の充実について、東御市の参考とするため

2 経費

使途項目	経費の内容と内訳		金額（円）
(該当項目に○)	交通費	北陸新幹線、えちぜん鉄道、駐車代	91,200
調査研究費	視察先謝礼	視察先土産代	8,132
研修費			
広報費	日当	宿泊料、日当 (@13,000円×2日 + @2,200円×3日) ×3名	97,800
広聴費			
要請・陳情活動費			
会議費			
資料作成費			
資料購入費			
人件費			
事務所費			
合計			197,132

※ 裏面に本事業に要した領収書その他支出を証する書類を添付のこと

実施日時	令和6年4月22日(月) 午前10時から11時30分
視察場所及び 部局等	成瀬管工事株式会社 能登半島かほく市
視察事項	災害復旧の現状と課題について
報告 内 容	<p>(1) 視察先概要 成瀬管工事株式会社は、金沢市にあり、今回の能登半島に近く、地震直後から陣頭指揮をとり、復興に向け動いている。 給排水配管工事、ガス配管工事、空調配管工事、漏水調査及び修理、トイレ工事上下水道を中心に復興作業をしている。 地震直後の翌日から輪島 珠洲 等に駆け付け陣頭指揮を取り活動した社長は石川県管工事協同組合の青年部会長でもあり、今回の石川県全体のまとめ役でもあるので、その立場からも災害復旧の現状と課題について見えたこと、感じたことを元に自身の体験をお聞きした。</p> <p>(2) 視察事項について 能登半島地震の災害復旧にインフラ整備で多大な活動をしている 成瀬管工事株式会社の成瀬社長から現場の状況と課題を聞いた。 また、かほく市の現場に行き現状を視察した。</p> <p>(3) 所感・市政に活かせること かほく市の現場は、能登半島沖地震から4か月近くたっていたが、想像していたより、復興は進んでいなかった。 ほぼそのままの状況が目の前に広がり、啞然とした。 復興の現状としては、まず業者が足りない。 業者の人が足りない。 基本的に予約でびっしりだと聞いた。 200件待ちとかそういう現状も予約表を見せてもらいつつ、話していただいたので、リアルに感じる事が出来た。 それによって悪徳業者や地震前よりかなり高額の請求をせざるを得ない現状もお聞きした。 それでも、やらないよりやってもらった方がいいという考え方が多いが、そんな中でお年寄りだけで暮らしている家族や貧困家庭は苦勞しているそうです。 悪徳業者に騙されないための対策としては、石川県の業者一覧を配布し注意喚起を呼びかけているという事をお聞きした。 東御市でも、そういう一覧を配布し、日頃から意識していくことは大切だと感じた。 また、周辺の(あるいは少し遠方の)市町村と提携し「困ったときはお互いに助けあう」という意思を約束しておくことも大切だと感じた。</p>

行政視察 金沢市



金沢市内能登地震現場



成瀬管工事株式会社「成瀬代表との研修風景」

実施日時	令和6年4月23日 午後1時30分から15時
視察場所及び部局等	福井県勝山市役所、白山平泉寺、福井県立恐竜博物館
視察事項	恐竜博物館や地域の歴史を活かした地域のまちづくりについて
報告内容	<p>(1) 視察先概要</p> <p>勝山市は、福井県北東部の嶺北地区に位置する市である。日本有数の豪雪地帯であり特別豪雪地帯にも指定されている。世界三大恐竜博物館の一つとされる福井県立恐竜博物館があり「恐竜のまち」を標榜している。</p> <p>福井県で最も人口が少ない市であり、近年は人口減少が続いている。</p> <p>面積 253.88km² 総人口 20,632人 (推計人口、2024年10月1日)</p> <p>(2) 視察事項について</p> <p>勝山市の歴史を活かした地域のまちづくり及び福井県立恐竜博物館と地域の連携について</p> <p>勝山市の文化財調査・保存・活用の主な取り組み</p> <p>① 国史跡「白山平泉寺旧境内」</p> <p>② 国重要文化財「旧木下家住宅」</p> <p>③ 市指定文化財・国認定近代産業遺産「はたや記念館ゆめおーれ勝山」</p> <p>④ 日本ジオパーク認定「恐竜溪谷ふくい勝山ジオパーク」</p> <p>上記の代表的なものを含め市内に80件以上のさまざまな文化財・遺産があり、これらの保存・伝承等を推進することで風土と歴史を地域づくりに活かし、市の魅力を高め、市民に地域への誇りを育む活動</p> <p>背景</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化による人口減少⇒文化財を次世代に継承する担い手不足や文化財の減失・散逸 ・平成30年、文化財保護法改正⇒未指定を含めた文化財等をまちづくりの核とし、地域社会が総がかりでその継承に取り組んでいく必要性 ・勝山市文化財保存活用地域計画を作成し、歴史や文化に焦点を当てた施策を発展させてきた ・県立恐竜博物館と連携しながら恐竜溪谷ふくい勝山ジオパークの認知度を上げてきたことにより勝山市への集客は年々増加しており十分な知名度を得たことから、令和7年度、福井県立大学に恐竜学部(勝山キャンパス)を新設の予定している <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財の保存・活用で市民からの要望に体制・予算など対応できていない ・平泉寺等、保存・活用が進みつつある文化財も、調査研究の継続が不十分である ・これまでに収集した資料の整理や保存・活用が進んでいない <p>(3) 所感・市政に活かせること</p> <p>東御市にも無形・有形、指定・未指定を問わず数多の文化財が存在し、その保存や継承に対し市民からたくさんの要望を頂いている。</p> <p>市は昨年、東御市文化芸術推進計画を策定し文化財の保存・継承、また文化芸術に関わる人材の育成や文化芸術を活かした地域づくりの展開を目標に掲げました。</p> <p>まずは市内の国・県・市指定の文化財の現状を調査し、必要な保存活動を地域と連携しながら実践する必要性を強く感じる。(勝山市のようにしっかりとした予算を組んで地域の要望に応じていくことが望ましい)</p> <p>勝山市のように恐竜の化石は発見されていないが、東御市はアケボノゾウの化石発掘量は国内随一である。滋賀県多賀町で僅か1頭発見されたアケボノゾウがしっかりと「骨格標本」を作成したことで国の天然記念物に指定されているが、東御市では5～6頭分の化石が発見されているにもかかわらず県の指定しか受けていない。やはり多賀町に負けない「骨格標本」を作り、日本で1番のアケボノゾウ発掘の地であることをアピールする必要がある、市民やファンが見やすい場所に展示することで観光に繋がると考えます。</p>

行政視察 勝山市



勝山市役所 研修状況



国史跡「白山平泉寺」



金沢市議場



福井県立恐竜博物館



実施日時	令和6年4月24日 午前10時から11時30分
視察場所及び部局等	福井県敦賀市役所 福祉保健部、子育て政策課・保育課
視察事項	子育て環境日本一プロジェクトについて
報告内容	<p>(1) 視察先概要 福井県の中央南部に位置し三方を山に囲まれ、一方は海に面した地形の市である、この地形を利用して原発も抱えている。 産業としては紡績を主とした工業と古くから海運業が盛んである、港湾では大型客船の寄港や北海道への定期航路を有しており、この地は1940年代「命のビザ」を携えたユダヤ難民が上陸した日本で唯一の港でもある。観光ではR6年3月の新幹線の延伸により来訪者が増加している。また開港100周年事業で松本零士氏の宇宙戦艦ヤマトや銀河鉄度999等のブロンズ作品も注目される街並みとなっている</p> <p>(2) 視察事項について 現在は終了しているが、子育て環境日本一プロジェクト推進の、事業の内容と実績について、関係部署から説明を受けた。</p> <p>(3) 所感・市政に活かせること 人口減少対策の中、特に顕著なことは東北の震災を機に原発従事者の転出ではあったが、年少人口を3区分した中で0~4歳の年齢層の減少率が高いことがあり、プロジェクトを先進的に進めてきていた、現在プロジェクトは終了しているが、国の施策で補完されたことによる為とのことであった。</p> <p>子育て支援策として国県の助成金を使用していることは、当市も対応している、今回の研修で子育てに向かう前段、(出会い・結婚・妊娠期・出産・)それぞれの段階での支援が子育ての環境を整えることに繋がると知る機会となった。</p> <p>この中で出会いは婚活イベントを当市も含む上田広域の中で行っており、結婚と出産にはそれぞれ祝金を支給して応援しているが、敦賀市では妊娠期に支援金の半額を支給していることは、この妊娠が当事者だけではなく、市全体の喜びであることを知らせる機会となることは大切であると感じた。</p> <p>当市でも人口減少に対する取り組みをしていく中で、敦賀市の第一子出産応援手当支給事業と同じような予算を執行する中、支給のタイミングや方法を考えていくことは、事業の目的を発展周知させることが出来ること、視察した部署のお話いただいた中、プロジェクトに取り組む苦労話もお聞きすることが出来たが、先進的取り組みを国が同じような取り組みをされたことは、誇りに思われていると感じた。</p>

行政視察 敦賀市



敦賀市役所



敦賀市役所内研修状況



敦賀市議場

政務活動記録簿

会派名	しんせいの会
事業名	東御市議会定例会等会議録購入
実施日	
参加議員	花岡豊一、斉藤哲、村山弘子

1 東御市における課題と研修・調査の目的

議場内における議案の採決に至るまでの経過や議論された内容等について、会派内議員の正確な情報共有を図るため、東御市議会定例会等の会議録を購入する。

2 経費

使途項目	経費の内容と内訳		金額 (円)
(該当項目に○)	市議会会議録購入代	3月定例会 会議録	5,769
	〃	5月臨時会 (5/14) 会議録	801
調査研究費	〃	6月定例会 会議録	4,989
研修費			
広報費			
広聴費			
要請・陳情活動費			
会議費			
資料作成費			
資料購入費			
人件費			
事務所費			
合計			11,559